

帯広病院 21-4111
柳町医院 30-3111
白樺医院 38-3500
ケアセンター白樺 41-1165

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光昭

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>
E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

民生委員さん訪問始まりました

無料低額診療を ご存じですか？

友の会連絡会と十勝勤医協職員による帯広市内の民生委員さんへの訪問活動が開始されています。
帯広市内には、301名の民生委員さんが、お住まいの地域での安否確認や生活上の相談などに携わっています。
160件以上の訪問で120名の民生委員さんとお話が出来ました。
(7月15日現在)

ひと声かけ・ 見守り活動を開始

友の会連絡会は2012年の総会で、75歳以上の独居、夫婦世帯の会員さんへの「ひと声かけ・見守り活動」を提起しました。

現在、帯広市内では431人の独居世帯と570人の夫婦世帯の声かけ・見守り活動を行っています。友の会連絡会がこの取り組みを行った契機は、高齢者や社会的弱者といわれる人達や(高齢)独居世帯の孤立・孤独死が社会問題となったこと。

受療権を守る無料低額 診療はじまる

そして、会員や世話人さんの近所、町内会で孤立・孤独死が散見される様になったことでした。

十勝勤医協では、2011年6月から「経済的な理由により、医療費の支払いが困難である方」の自己負担分について減額免除を行う無料低額診療を帯広病院、白樺医院、老健白樺で開始しました。この3年間、毎年100名を超える方々が利用しています。

昨年は、122名が利用し、5934日間、513万円の減免額でした。



自民党による構造改革路線で格差と貧困が加速しました。また、アベノミクスで大企業は潤い、国民には消費税の増税や年金の削減で景気は冷え込み、貧困は一層深刻さ

を増しています。

十勝勤医協が行った高齢者の実態調査でも、「少ない年金で生活費を切り詰めるのがやっと」、「なるべく出歩かない様になっている」、「人と何日間も話をしていない」など貧困から社会との関わりを少なくせざるを得ない状況がわかりました。

無料低額診療は、経済的な理由のみで医療を受ける権利が抑制されることを防ぐだけでなく、社会との接点を取り戻し、孤独死や孤立死を防ぐ取り組みでもあると感じています。

「さまざまな人達と 共同して」

地域で活動されている民生委員さんは、「社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立つて相談に応じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に務めるものとする」(民生委員法)との立場で、社会的孤立や地域での生活困窮者への援助など日夜奮闘されています。

友の会連絡会は、今年1月「帯広市きづきネットワーク」に加盟しました。

ネットワークには、行政や町内会、老人クラブ、企業や医療機関など様々な団体が加盟し、見守り活動を通して孤立死や孤独死、虐待などから市民を守る活動を行っています。

友の会連絡会が行ってきた「地域で安心して暮らせる街づくり」の一環としての「声かけ・見守り」活動も様々な団体と協力しながら、さらに全友の会の取り組みと発展させることが求められています。

「安心して暮らせる 街づくりをめざして」

この様な中、地域で活動されている民生委員さん

に、経済的理由で医療が必要なのに受けられない、孤立死や孤独死に結びつくおそれのある人に、十勝勤医協などが実施している無料低額診療を紹介して頂くことと、友の会連絡会が、声かけ・見守り活動を行っていることをお知らせするため民生委員さんの訪問を行っています。

訪問先では、「近所には、収入が少ないため高齢でも働いている人がいる。もし病気になると思ったら心配になる。こんな制度があると本当に助かる。何かあったらすぐ電話します。」という声や「友の会の会員です。以前友の会ニュースで無料低額診療が始まったことが載った記事を切り抜いて保存しています。」と話されたり「向かいの独居の男性の様子がおかしい」と思い、訪問したら脳出血で倒れていた。自分もそうだが男性の一人暮らしは大変だし、自分は大丈夫だと言う人も多いので対応も大変。」との経験を話される方もいました。

【友の会連絡会
事務局 山本 鉄雄】

聴診器

全日本民医連第41回総会方針のもと、「健康権」の学習が旺盛に取り組みされている▼「健康権」とは、「すべて

の人々が到達可能な最高水準の身体的および精神的健康を享受する権利」のこと。第2次世界大戦がもたらした世界的規模の破壊と荒廃、人間性の喪失による残虐な行為への深い反省から、「健康権」はWHO憲章の原則の一つとなった▼国際社会は「一世代のうちに健康格差をなくそう」と、健康の社会的決定要因に取り組み活動を進めており、民医連も「健康権の実現、生存権の保障」を掲げ実践を重ねてきた▼しかし、依然として、所持金が底をつき食事もとれず体調不良となつてやつと外来にたどりついた患者さん、経済的問題があり癌治療を中断していた患者さんなど、最高水準の健康どころか貧困により生命の危機に立たされる事例は後を絶たない。健康権の保障、それを担う民医連の役割はますます大きい。「健康権」を学んだ職員は「健康は自己責任では守れない」ことを事例を通じて実感し、自らの中にある自己責任論を打ち破ることで成長していく▼一方で、健康権保障の前提条件が「生命を奪われないこと」「平和」であることを忘れてはならない。戦争する国をめざさない、安倍政権の暴挙を許さない、「絶対に戦争はしない」意志表示と行動を続けよう！
(景)

診療技術部の部屋

【大腸がん検診と精密検査】

帯広病院 臨床検査技師

主任 佐川文子

精密検査で行われる注腸バリウム検査と内視鏡検査

注腸バリウム検査

肛門からバリウムと空気を入れ、
大腸の病変の有無を調べます。



精密検査 大腸内視鏡検査

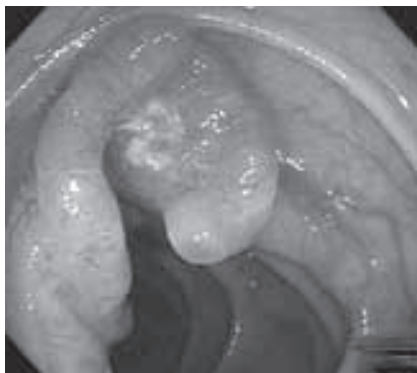
肛門から内視鏡を入れ、
大腸内を観察し病変の有無を調べます。



注腸バリウム検査 大腸がん



大腸内視鏡検査 大腸がん



大腸がん検診と精密検査

大腸がん検診で行う検査 便潜血反応検査とは

がん組織からの微細な出血を検知することで大腸がんを探り当てようとする検査です。

痔からの出血などがなくても陽性となってしまうという欠点がありますが、健康な集団から大腸がんの精密検査が必要な人を拾い上げ、大腸がんの早期発見につなぐ有効な検査です。

帯広市の大腸がん検診受診率

対象者	H14年	H21年	H23年	18.0% (全国)
33,500名	17.5%	31.0%	32.5%	15.9% (北海道)
				14.5% (札幌)

当院で大腸がんと診断された方の便潜血反応検査結果のふり回り

(2009年度の調査より)

癌が発見された方で前年度にも便潜血反応検査を受けた方は…

12名中11名が 前年度は陰性だった。

2回法（2回分検査している）だが…

33名中9名が1回分は陰性だった。

★大腸がん検診で行われる便潜血反応検査は、前年が陰性でも毎年受けましょう！

★便潜血反応検査で陽性が出たら、必ず精密検査を受けましょう！

「デイスサービスすずらん」では、7月11日から約1週間の間、夏の恒例行事となった、流しソーメンをおこないました。気温も30℃近くになり、天候にも恵まれ、さわやか水の音を聞きながらお腹いっぱいソーメンをいただくことができました。途中でミニトマトが流れると大きな笑い声と笑顔がふれましました。

「今年もおいしかったね」「テレビでは見たことあるけど、生まれて初めて食べた。こんな経験、こここないといけないね。長生きも良いもんだね」と



と一緒に広げていきたいと思えます。
【デイスサービスすずらん 本田 雅和】

デイスサービスすずらん

夏といえば、流しソーメン



帯広病院

8月から十勝での研修スタート



初めまして。勤医協中央病院2年目初期研修医の加藤聡一郎と申します。私は札幌で生まれ、幼少期旭川で過ごした数年を経て、その後はずっと札幌で暮らしています。中学高校は札幌市清田区にある北嶺という学校で過ごしました。山の中かつ

男子校という環境で、真面目に勉学に取り組んでいた気がします。その後北海道大学へ進学しました。大学時代は部活（硬式テニス部）とアルバイト（塾講師）が中心の生活でしたが、なんとか国家試験に合格し勤医協中央病院で医師生活を始めることができました。

医師1年目の昨年は内科を中心に研修し、2年目の現在は麻酔科・産婦人科・小児科など様々な科で研修しています。毎日新しいことに出会い、勉強の日々を送っています。将来は、患者さんが困ったときにまず相談にのれるような家庭医になることが現在の目標です。今回の地域医療研修で十勝での医療を体感することはもちろんですが十勝のおいしい食べ物、お酒、自然も満喫したいと思っています。1カ月という短い期間ではありますがどうぞよろしくお願ひ致します。

友の会員
40歳以上

無料大腸がん検診

今年4月から翌年3月末まで実施中

シリーズ

憲法があぶない

十勝・しほろ「九条の会」事務局
和田 鶴三

日本は徳川幕府の鎖国政策、明治時代以降になつて、当時のヨーロッパ諸国における植民地政策に追いつき追い越せという立場から、朝鮮・中国等を中心に侵略戦争を開始していった。その間、国内においては戦争遂行のために国民は多大な犠牲を払わされる結果となつた。

戦争に反対するものや表現に問題がある人たちが、治安維持法の名の下に検挙され拷問を加えられた。その事を伝える講演の集い、「歴史に学ぼう 未来を信じ弾圧に抗して」が7月5日にとちプラザにて開かれ、話を聞くことができた。基調報告として、北海

帯広病院
胃カメラ休日特診のご案内

10月5日(日)予約制(午前中)

ご希望の方は帯広病院へお電話下さい。

TEL 21-4111

景の中で出来たものであり、決して押し付けられたものでもなく、時の政権の一存で変えられてはならない。安倍政権の暴走を終わらせるためにも、「九条の会」を大きくし、広げる事に尽きる。

再三の訓練中止の申し入れを行っているにもかかわらず、今年も自衛隊による浜大樹上陸訓練が強行されました。今年で32回目となるこの訓練に、十勝勤医協からの2名を含む約50名が全道各地から参加し、「侵略のための訓練を止めよ」「L C A Cは上陸訓練を止めよ」「平和な大地を軍靴で汚すな」等と抗議

Bさんの一人で暮らしたと思う気持ちと、Aさんの負担を軽減するため、生活保護を申請し、保護を受けながら生活できる高齢者下宿への入居を検討することがありました。

今回の事例では、情勢を反映した低年金、在宅にて複数人を介護する介護者の負担増大と経済的困難など、様々な問題が重なりました。生活保護で入居できる施設、その中の居室の数も限られています。貧困と格差が広がるなか、病気や様々な困難を抱えながらも、在宅で暮らしたい思いに寄り添う支援が今後も求められます。また、高齢者を支える住まいの問題についても考えさせられました。安心して住み続けられるまちづくりの一つとして、社会保障の充実や介護保険制度拡充を求める運動も、引き続き重要な課題であると感じた事例でした。

【白樺在宅総合センター】

第14回
反核平和自転車リレーを開催

十勝勤医協 ケアセンター白樺 吉野 和孝

6月28、29日の日程で、反核平和自転車リレーが開催されました。コースは1日目が帯広病院をスタートして浦幌を経由し本別までの90 km、2日目は本別から勇足、利別を通過して帯広病院に戻ってくる行程でした。

自転車のバンクやどしどし降りる雨に当たったアクシデントもありましたが、最後は快晴の中、みんなが無事に完走することができました。学習企画では弁護士山口耕司氏から、「集団的自衛権」について講演して頂きました。憲法を守るべき人たちが、



何十年もできないと言っていたことを、国民の意見も聞かずに戦争できる国にしてみようとする動きを学びました。道中では、中継地点で多くの友の会のみなさんが迎え入れてくれ、差し入れや応援をして頂きました。友の会の方々も、「憲法改悪や「集団的自衛権」についての危惧をお話しされており、友の会が同じ思いを持ち、職員の平和活動に期待されていることを実感することができました。

浜大樹上陸訓練反対全道集会



友の会連絡会「ナー」 ☎〇二五・二一・四二四四
生き生き広場

白樺友の会

総会を開催

白樺友の会

白樺友の会では、去る6月12日に、17名の参加で「総会」を開催しました。来賓の高野幸雄友の会連絡会会長から、原発推進や軍国主義復活へ邁進する現政権は、全くの国民無視、国民不在の政治であり、命と暮らしが脅かされ続けている。私たち国民の世論で、ST

OPさせようと挨拶がありました。

2013年度の活動報告と2014年度の方針が提案され審議されました。主な方針では、昨年からおこなっている高齢者（世帯）への見守りや、声掛けを継続していくことが承認。席上、ある世話人さんから「毎月のニュース手配りは、会員さんとの接点。お元気ですか！と、ひと声掛けることが待たれていることを

実感している」との発言もあり、高齢者との繋がりを広めていくことの重要性を確認しました。

最後に憲法ミニ学習を行い、「憲法って何だろう？」というパンフレットを全員で声を出して読み合わせました。「あなたはあなたの人生の主人公」「憲法はリーダーを縛るもの」「多数派の『いじめ』はダメ」「戦争は最大の人権侵害」など、難しい条文を、易しく解りやすく書かれた文章で理解を深めることができました。改めて、日本の憲法ってすばらしいと思



白樺友の会 武井 純子

頭の体操

次の□に二字熟語ができるように漢字を入れてください。□に入った漢字を組み合わせると答えになります。出題者は霜村英靖さん（帯広市）です。

視 □ 香
死 □ 路
紺 □ 煙
赤 □ 煙
大 □ 煙
郊 □ 泊
口 □ 泊

【ヒント】

日傘・帽子・サンングラスが有効です。

【応募方法】

解答とお名前、住所、電話番号をハガキか電子メールで、左記へお送りください。

【宛先】

○郵送

〒080-0019

帯広市西9条南11丁目

十勝勤医協会館内

友の会ニュース編集部

○電子メール

soshiki@tokachi-kin-

kyo.or.jp

【賞品】

抽選で10人の方に、千円分の図書カードをお送りします。

【締め切り】

8月20日（当日消印有効）。発表は第365号（10月号）紙上です。

【第361号の当選者】

答えは「閑古鳥」でした。

応募総数102通、正

解者101通の中から抽

選により、次の10人の方

が当選しました。（敬称略）

川瀬千鶴子・斎藤潤・佐々

木長太郎・前野秀司・山

口幸一（以上帯広市）・中

川光夫（幕別町）・野澤美

津枝（音更町）・猪口初美

（釧路市）・亀田幸子（足

寄町）・佐々木間津菊（芽

室町）

※頭の体操の問題を募集しています。採用の際には、図書カードを贈呈します。

健康相談会二回目

芽室友の会

5月に続いて7月9日、今年2回目の健康相談会を開きました。会場は、芽室町の中央の便利な場所、町役場や公民館のすぐ傍にある「ふれあい交流館」です。町民の活動団体として登録すると、無料で使える場所なので大変助かりました。

まず血圧測定と尿検査、希望者には体脂肪の測定を実施。今回のテーマは「嚥下障害について」、十勝勤医協帯広病院から、齊藤まなみ看護師と白樺在宅総合センタから勘原梨恵ケアマネージャーを講師に13人の参加でした。

脳出血や筋肉の衰えからくる嚥下障害に対し、一日3回の歯磨きや舌や頬つぺの体操などで障害を防ぐ・遅らせることが出来ることなど話されました。参加者から「逆流



性食道炎のこと」「入れ歯の調子が悪く、噛み切れない」など質問も出されましたが、一つ一つ丁寧に説明をしていただきました。

最後に、勘原さんから、職員2名が「原水爆禁止世界大会」に参加します。是非協力をと訴えがあり、署名と募金で応援しました。

【芽室友の会 梅津 美政】

高血圧の本当の

恐ろしさを学びました

音更友の会

7月11日、地域交流サロン「香蘭」で健康相談会が行われ、柳町医院の浅沼師長と三浦事務長に来ていただき、13名が参加しました。

今回のテーマは「血圧について」ですが、何と今、日本では成人の約2、6人に一人が高血圧だと言われている事にみんなびっくり。丁度今回の参加者も血圧の薬を飲んで

いる人の割合もほぼ同じで納得しました。

高血圧の恐ろしさ「合併症」について、放っておくと動脈硬化になり、脳や心臓などの血流が詰まったり、血管が破れて出血したり、命にかかわる合併症を引き起こす事など、常に血圧をきちんとコントロールする事の重要性を学びました。

家で血圧計を備えている人もいて、血圧の正しい測り方についても丁寧に教えて頂きました。参加者から、「兄弟に心臓病が多いが遺伝なのか」「低血圧症と言われた」「眼底出血について」などの質問がありました。丁度丁に答えて頂きました。最後に、浅沼師長から今日の尿検査についての説明、三浦事務長から「原発ゼロ」の署名と原水爆禁止世界大会の代表派遣の募金の訴えがありました。

【音更南友の会 坂本 恵子】

